



# 「地域活性化システム論」

## 開講のご案内

日時

平成21年9月24日(木)～26日(土) (3日間)

場所

小樽商科大学4号館 160講義室

### 1. 講義の目的

“地域を活性化すること”、それは、現代の日本において緊急の課題です。しかし一言で地域を活性化することは容易ではありません。まずは活性化に資する人材の育成が大切です。本講義では地域活性化、まちづくりの分野で、実践的かつ学術的な活躍をされている方々を講師に迎え、地域活性化を実現するヒントを提示します。

今回の講義を通じ、地域活性化に寄与している企業活動、国家戦略のもとでの省庁関係者らの取り組み、学術的な分析手法を理解し、受講生が現実のフィールドを歩きまわり、自ら課題を提起し、解決策を模索する実践的な講義を目指します。

### 2. 主な受講対象者

小樽商科大学及び室蘭工業大学の学部学生、大学院学生の他、下記の方々の聴講を歓迎いたします。

申込の必要はありません。自由にご来聴ください。

- 学生、一般市民、企業・団体、NPO、地域自治体職員等の皆様

### 3. 講義日程及び講義一覧

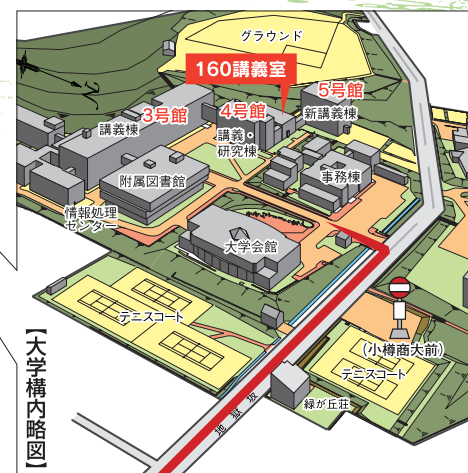
9月24日(木) 8:50～10:20 **ガイダンス・フィールドワーク説明**

室蘭工業大学理事(副学長) **松山 春男**  
 小樽商科大学理事(副学長) **大矢 繁夫**  
 小樽商科大学商学部教授 **伊藤 一**

「地域活性化システム論」の開講に至った経緯、趣旨、目的及び講義概要について説明並びに講義の方針、目標、成果等について説明を行う。次にフィールドワークについて説明を行う。



【小樽市内略図】



【大学構内略図】

「小樽駅前」中央バス③番のりばより小樽商大線(⑩番)に乗車。  
「小樽商大前」下車(乗車時間約10分)  
(バス料金200円、タクシー利用の場合は駅前から750円程度)



### 小樽商科大学 学務課学部教務係

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号  
TEL 0134-27-5242・5244 FAX 0134-27-5243  
E-mail [gakubu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:gakubu@office.otaru-uc.ac.jp)



# 而

## 「地域活性化システム論」

### 9月24日(木) 10:30~12:00 地域活性化の取り組み

小樽商科大学商学部教授 伊藤 一

地域活性化を実現しているいくつかの自治体の事例を紹介して、地域活性化のための視点を提示。また現在の地方自治体の直面している問題についても講義で取り扱う。

### 9月24日(木) 12:50~13:35 地域活性化と自治体等の役割—マレーシアの事例

小樽商科大学商学部教授 穴沢 真

本講ではマレーシアにおいて特に地域経済の活性化に熱心であるペナン州を取り上げ、これまで州政府及び州政府と民間企業との協力による第3セクターが行ってきた様々な取組について紹介し、さらに、その成功の要因についても考察する。

### 9月24日(木) 13:35~14:20 外国人観光客を対象とした小樽のマーケティング戦略の課題

小樽商科大学商学部教授 プラート・カロラス

地域活性化のための一つの方策は地域の外から観光客を呼び込むことである。小樽を訪れる日本人観光客が近年減少している一方、外国人観光客は年々伸びており、観光地小樽は、こうした各国の観光客の異なるニーズや特徴をうまく把握し、効果的に対応していくことが求められる。本講義では、外国人観光客を対象とした小樽のマーケティング戦略を検討する。

### 9月24日(木) 14:30~15:15 北海道の屋台村の特徴と評価の試み

室蘭工業大学工学部教授 大坂谷 吉行

帯広市の有志がまちの活性化を図ろうとして、2001年7月29日に開業した『北の屋台』が成功を納め、北海道を中心に屋台村ブームが起きた。現在、北海道には11市町で12の屋台村がある。開業順に示すと、室蘭市(むろらん屋台村)、帯広市(北の屋台)、釧路市(港の屋台)、苫小牧市(錦町横丁)、小樽市(小樽れんが横丁、小樽出抜小路)、八雲町(やくも屋台村)、函館市(大門横丁)、美唄市(美唄屋台村)、北見市(北見じまん村)、登別市(ほろべつ屋台村)、稚内市(副港市場波止場横丁)である。ここでは、各屋台村の特徴を示すとともに、これら12の屋台村の評価を試みる。

### 9月24日(木) 15:15~16:00 デザイン的思考からのまちづくり

室蘭工業大学工学部講師 真境名 達哉

まちづくりを行うための切り口、そしてそのアプローチは様々あるが、本講ではデザインという視点で論じる。ここでは本講師が実際に関わった室蘭でのまちづくりを例に、デザインという考え、その方法を理解し、デザイン的思考でのまちづくりの概要を捉える。

### 9月24日(木) 16:10~17:40 ディスカッション グループ分け

室蘭工業大学工学部教授 大坂谷 吉行  
室蘭工業大学工学部講師 真境名 達哉  
小樽商科大学商学部教授 伊藤 一

ディスカッションのためのグループ分けを行う。

### 9月25日(金) 8:50~12:00 フィールドワーク

小樽商科大学商学部教授 伊藤 一

観光の街、小樽を歩き、観光に従事している方々の意見を聞き、今小樽に必要なことは何か、その解決策を策定する。グループに別れてチーム別に若者が集まれる小樽の観光について企画を提案する。

### 9月25日(金) 12:50~17:40 ディスカッション

室蘭工業大学工学部教授 大坂谷 吉行  
室蘭工業大学工学部講師 真境名 達哉  
小樽商科大学商学部教授 伊藤 一

講義で取り上げられた、小樽におけるものづくり、地域ブランド、観光開発の事例を題材に、学生はグループに分かれて「小樽における地域活性化のための方策」についてアイデアを考えてもらう。

### 9月26日(土) 8:50~12:00 学生発表及び講評

室蘭工業大学工学部教授 大坂谷 吉行  
室蘭工業大学工学部講師 真境名 達哉  
小樽商科大学商学部教授 伊藤 一

いくつかのグループにまとめた内容を報告してもらい、発表の内容について講評を行う。

### 9月26日(土) 13:10~16:30 地域活性化シンポジウム in 小樽商科大学

■主催:小樽商科大学、室蘭工業大学、地域活性学会、地域活性機構  
■統一テーマ:「観光と地域活性化」  
■協力:内閣府、農林水産省、国土交通省北海道運輸局 ■協賛:地域活性学会会員企業ほか

進行:司会進行/松原 信吉氏(地域活性機構事務局長)

13:10~13:20 主催者挨拶 山本真樹夫(小樽商科大学・学長)  
松山 春男(室蘭工業大学・副学長)

13:20~13:30 来賓挨拶 小林 稔氏(国土交通省北海道運輸局企画観光部長)

13:35~14:15 基調講演  
テーマ:「地域の活力を考える」  
講師:御園慎一郎氏(大阪大学教授・地方公共団体金融機構理事)

14:20~15:40 パネルディスカッション  
テーマ:「これからの小樽の観光を考える」  
コーディネーター:館 逸志氏<内閣府官房審議官(経済財政運営担当)>

シンポジスト:  
観光と農業資源 木村 俊昭氏<農林水産省大臣官房政策課企画官>  
観光戦略 笹森 秀樹氏<国土交通省観光庁観光地域振興部観光地域振興課長>  
観光の活性化 矢幡 聡子氏<CORE S LTD代表取締役・YOKOSO JAPAN!大使>  
観光と実践 箕谷 修氏<布利尻屋みのや代表取締役>  
観光のものづくり 阿部 眞久氏<北海道ワイン(株)総合企画室係長・小樽ふれあい観光大使>

15:50~16:30 意見交換会(産学官)

# 地域活性化シンポジウム in 小樽商科大学 の開催について

## 1 シンポジウムの開催趣旨

観光都市として発展してきた小樽であるが、ここ数年、観光客の減少が目立ちます。従来から言われ続けた、短時間しか滞在しない小樽観光を見直し、観光都市小樽における真の観光の活性化とそれにつながる地域活性化について基調講演とシンポジウム、さらに参加者との意見交換会を通じて考えてみます。

開催概要は次のとおりですので、ぜひ、ご参加・ご周知のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 2 シンポジウムの概要

- 主 催：小樽商科大学、室蘭工業大学、地域活性学会、地域活性機構
- 統一テーマ：「観光と地域活性化」 ◎参加対象：学生、一般市民、企業・団体、NPO、地域自治体職員ほか
- 協 力：内閣府、農林水産省、国土交通省北海道運輸局
- 協 賛：地域活性学会会員企業ほか

## 3 「地域活性化シンポジウム in 小樽商科大学」の開催概要

(1) 日 時：平成21年9月26日(土) 13:10～16:30 場 所：小樽商科大学4号館 160講義室

(2) 進 行：司会進行／松原 信吉氏(地域活性機構事務局長)

①主催者挨拶(13:10～13:20) 山本真樹夫(小樽商科大学・学長)

松山 春男(室蘭工業大学・副学長)

②来賓挨拶(13:20～13:30) 小林 稔氏(国土交通省北海道運輸局企画観光部長)

③基調講演(13:35～14:15)

テーマ：「地域の活力を考える」

講師：御園慎一郎氏(大阪大学教授・地方公共団体金融機構理事)

④パネルディスカッション(14:20～15:40)

テーマ：「これからの小樽の観光を考える」

コーディネーター：館 逸志氏(内閣府官房審議官(経済財政運営担当))

シンポジスト：

観光と農業資源 木村 俊昭氏(農林水産省大田官房政策課企画官)

観光戦略 笹森 秀樹氏(国土交通省観光庁観光地域振興部観光地域振興課長)

観光の活性化 矢幡 聡子氏(CORE S LTD代表取締役・YOKOSO JAPAN!大使)

観光と実践 箕谷 修氏(有利尻屋みのや代表取締役)

観光のものづくり 阿部 真久氏(北海道ワイン㈱総合企画室係長・小樽ふれあい観光大使)

(その後同一会場)

⑤意見交換会(産学官)(15:50～16:30)

産学官からの地域キーパーソン、地域活動家の皆さんとの新しい仕組みづくり等を意見交換

(3) 参加費：無 料

## 4 その他

懇親会(学生会館) 会費：500円